

会議状況等報告書		報告者	
会議の名称	第2回大府市緑化推進委員会		
日時	令和5年9月26日（火）9時00分～		
場所	委員会室1		
出席者	樋口委員、水谷委員、服部委員、只井委員、櫻井委員、中村委員、深谷委員、島田委員		
	近藤部長、深谷課長、清水係長、増田主査、渡邊技師		
内 容			
<p><b>1.あいさつ</b></p> <p><b>委員長）</b> 皆さんおはようございます。今回は、基本計画の実施進捗状況の確認となります。</p> <p>個別の取組に対する御意見であったり、中長期的な御示唆からの、御意見であったり、色んな御意見を賜りたいと思いますので、色んな議論ができればと思います。よろしくお願いします。</p> <p><b>委員長）</b> 早速ですが、お手元の議事次第の議題の1番「緑の基本計画の実施状況について」、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p><b>事務局）</b> ---【資料に基づき説明】---</p> <p><b>委員長）</b> ありがとうございます。皆様から何かご質問や確認などがありましたらお願いします。</p> <p><b>委員）</b> まず基本目標1ですが、④の「特定生産緑地の指定を都市計画認定決定」となっていますが、面積はどれぐらいですか。これは、他部署にて実施予定の事業ですが、今後の予定はどうなっているのですか。質問ではないですが、私は「すわるアート」に少し携わったので色々話を聞いています。例えば、上の（写真）方は大学生の方が、下の（写真）方はプロの方の応募だったのですが、学生などの若い方が創ったもの、今回はベンチとか座るものだったのですが、緑の中でも何か若者が創ったもの、何か形として残せるようなものが、市内に緑や公園や何でも、そういうものが残していけて、それが増えていくのも良いかと思いました。</p> <p><b>課長）</b> まず1点目の生産緑地でございますが、特定生産緑地の指定の面積は12haになります。次に、「すわるアート」ですが、委員がおっしゃられるとおり、「若者のものを残す」ということで、このコンテストの委員長は、名古屋造形大学の先生に委員をやっていただいていることもあり、学生の参加も多かったのではないかと思います。今後も、大府・共和とまちづくりを進めていく中で、このような取組を行っている聞いておりますので、ぜひとも若い方に参加していただいて、緑に興味を持ってもらうことをやっていきたいと思っております。</p> <p><b>委員長）</b> 2点目に関連してですが、すごくいいと思ってます。こういった取組を我々サイドから考えると、やっぱり緑を使ってもらう、緑に触れてもらう場に、こういったものが継続的に展開されることが良いことと想像しています。我々サイドが、緑に触れてもらうことを考えるときには、やはりそのネットワークとして、市内の公園、市内のウォーキングコース、他部署の健康ウォーキングとかも絡んでくると思うのですが、「歩いて楽しんでもらう」「座って楽しんでもらう」「見て楽しんでもらう」「あることが楽しんでもらう」何かそれが上手く繋がっていくと良いという、理想郷を想像してます。そうなってくると、他部署でこのコンテストをやっていますが、「コンテストベースだと、多分上手くいかないのかな」という気がしていますので、その辺りをこの水緑公園課の方で、戦略的に、ベンチが足りないし、ここの空間に触れ合いたいので、こういった所で開催してもらえないかという様な、連携というのが必要になってくると思いますので、上手くこの機会を使って、今後の緑化政策の方で活用してもらいたいと思います。</p> <p><b>委員）</b> 計画は素晴らしいのですが、先日アダプトの方に言われたのですが、事業をすることは良いのだけれど、整備がいきとどいていないところが多くて、ちょうど彼岸花の世話をしているもこれ以上は手が回らないので、「大府コミュニティにも手伝って欲しい」と言われました。ご存じのとおり大府コミュニティも、駅西駅前から</p>			

川池の辺までの、整備をしているのですが、活動出来る人数は限られています。計画は良いのですがフォローなどをきちんとしていかないと、綺麗に整備されても結局手入れのされない公園となっても意味がないので、そこまで考えた施策をやっていかないと。「宝の持ち腐れ」になっている感覚がすごくあります。最近も議員さんが草の伸び方が酷く、仲間に声をかけて、草刈りをしたという話も聞きました。事業をやることはいいけど、それをフォローする施策を、つくってやっていかないと、思います。建物をつくっても中身がないのと一緒です。計画を立てていかないと、多分続かないと思います。いいことをやっても、「何だ、素朴じゃないか」という反発が市民から来るので、「綺麗な街づくりを、していかねばいけない」と凄く感じますので、もう少し考えた上で、こういう計画を立てて欲しいなと思います。

**事務局)** 緑地をつくり、維持管理をしていく、綺麗に維持管理をしていくのは非常に大切なことなのですが、我々スタッフ、それから予算、限りがございまして、全てを完璧にやることは正直難しいです。先程の彼岸花のところでは、元々あそこに広めの緑地帯という植樹帯がありまして、ある団体の方が、「あそこに彼岸花を植えたい」という形で、自主的な行動をしたいということで申出がありました。一時期は、かなり手を入れた時期もありますが、中心人物であった方がお亡くなりになってしまったこともあって、なかなか完璧な手入れは今出来ていない状況です。ただ、例えば我々でも、出来る限りということで彼岸花というのは、9月の頭に芽を出しますので、8月末から9月初めには、必ずまず1回、草を全部刈りまして、今は株数が少なくなっておりますが、草が伸びっぱなしの状態ではなくて、彼岸花がかなり見えた状態になっております。なので、我々としては、やれることはやっている状況です。ただ、それを維持していこうとしても、我々行政だけが、それをやり切るということは正直難しいです。維持管理をしていくのは永遠の課題になるものですから、そういったヒントを緑化推進委員会の方々とも、相談しながら、いかに、大府市の緑化推進のレベルを上げていこうかということは今後、皆様とともに考えていきたいなと思っています。我々も、やれることはもちろんやっておりますし、本当に課長・係長以下も、汗水たらしながら草刈り機で対応をしたり頑張っておりますので、維持管理に関しましては、出来る限りのことをやっておりますので、そういったことで皆さまと協力しながら、より良い形というのをまた模索していきたいと思っています。

**委員長)** ありがとうございます。今のご指摘は本当に重要なことだと思います。一方で部長がおっしゃられることも、分かりますので、ただ「計画として」というところは、やっぱり枠組みが今、正直、「スタッフとしてないな」という印象もあります。今のご指摘は、やはり計画の改訂だとか、更新の時には、「施策というか、維持管理をするフォローをするという体制づくりを、市として、市民と協働を含めて、どう考えていくか」といった視点の施策というか、枠組みは準備しておくべきと感じますので、「今後の継続的な課題にすべき」と思います。ありがとうございます。

**委員)** 基本目標の1の「河川・水辺の保全」の環境保全ですけども、今の石ヶ瀬川に関しては、多分、石ヶ瀬コミュニティが中心にやっていると思いますけど、実はこの間僕らも延命寺川の環境保全をやっています。後押ししてくれているのは、環境課ですが、ちょっとイザコザがありまして、今回は実行委員会方式で行っているものから良いのですが、この間も150人から200人近くが集まって、特に住友さんが、ベトナムの子たち含めて30人ぐらい来てくれて、その辺はすぐスムーズにやれました。この河川関係事業は、環境課なのか水緑公園課なのか、どっちが中心になっているのかな、ということをすごく感じました。協力はどんどんさせてもらっています。また来年も、9月の第2、第3の日曜日、また、クリーンアップ活動をやるものですから、その辺をもう少し考えてほしいです。後押しだけしてもらえばいい、皆さん動きますので、どっちが主体なのか感じただけです。

**事務局)** 今の整理だけ言いますと、環境課、それから水緑公園課が、二つの課が関わってます。水緑公園課の中でも、緑花公園係と雨水対策係がありまして、そこも二つに分かれています。川としての治水機能を維持する、整備するというのが、今の雨水対策係であり、水緑公園課の一部です。それとともに、環境美化というか見た目を良くするというので草刈りをやったり、木、地被植物を植えたりというのは、水緑公園課の緑花公園係が所管しています。ただ、治水機能そのものについて例えば草が生えていようが生えていまいが、治水機能はあまりほとんど変わりがないので、川の構造を維持するという側面もあります。環境課というのはそこに住んでいる、植物とか、生物とか魚類とか、そういったものの保全をするというの、何とかそれを、市民生活に活かすというような役割を持っているのでどちらかというとソフト的なものを環境課が所管しているということですが、ただ、その窓口はそうやって分かれていますけど、大府市は一つですし、市長も1人ですので、それは、チームワークをとりながら、皆様方コミュニティという形で、お付き合いをしていきたいなと思いますので、どっからが

どうというわけではなくて、我々みんなが責任感を持って、全体をサポート、推進していると御理解をいただくとありがたいです。どこに行っても、情報共有して進めていきますので、色々な側面があるものですから予算はそれぞれに分かれておりますが、チームとして一緒にやっていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

**委員：** さっきの桜井さんの話にすごく私も同感で、私は石ヶ瀬小学校の近くに住んでいるので、石ヶ瀬川の近くも鞍流瀬川の椅子のところも歩いたりしますが、先程の基本計画のところでもフットライトの整備ということで、何年か前に、ジーニアス幼稚園の裏側もフットライトと通路を整備していただいたのですが、刈っても刈っても今の気候変動のせいもあると思うのですが、草の成長に間に合っていない。次の区画をやっている間にも前の所に生えてきて、凄く綺麗な通路はあるのに、みんな結局、石ヶ瀬小学校側を現状歩いています。もう本当に通路が見えないくらい草が覆いかぶさって、フットライトがある所も歩きましたが、暗く感じました。どういう機能を持つてるフットライトか分からないんですけど、ちょっと暗いと思います。石ヶ瀬小学校の樹木も大分育って、この緑化推進委員になる前か、その辺りのタイミングでお願いして、刈っていただいてありがたございました。それも多分、どれくらい切っていいとか規定があるのか分からないんですけど、現状やっぱりすごく張り出していて、草は生えている木も大きい、通行人と自転車の人がすれ違うのもストレスという現状は今も変わってなくて、私が少し思うのは、緑道は小学校の隣だし、幼稚園の子たちもグラウンドもあるし、利用者はすごく多い緑道で、みんな多分緑道を使ってる人は「草を自分でも刈りたい」と思う気がしています。例えば、草刈り機の使い方とかを教えてもらったら、私とか近隣の人とか、緑道を使う人が、自分で何かそのイベントでもいいんですけど、「刈ってもよければ刈りたいな」って、でも「勝手に刈ったら、公共の場所だから駄目だよな」みたいなモヤモヤが凄くあって、もう見るに見かねた方がちょっと刈っているんじゃないのかなって思う場所もあります。ただ急斜面で、市民や地域の方とかも手が入れられない危険な場所という意味で、「業者の人にしか任せられないのかな」と思うんですけど、何か方法があったら、緑道を利用する人達も、私も、草刈り機の使い方が分かれば、嚴重な装備をしてやりたいなど日々思っているのも、もしも基本計画で色々な事をつくる基本計画があれば委員長もおっしゃったように、保守とか草刈りの予算を年に1回じゃなくて、年に2回にできる予算とかが組めるような、「まちづくり」になればと思います。子育て世代としては、「新しい公園ができるよりも草がない緑道を歩ける方」が結構、楽しいのかなと思います。

**事務局）** 草刈りについては、市民の方からご意見をいただくことが多いです。まず、整備に関しましては、やはり最終的に維持管理をどうすればいいのかなっていうことは、多少模索しながらやってはいます。先ほど申し上げました「タイムロンギカウリス」を川の堤防に植えることで、雑草を抑えて、それが地被になって、根が強く草が生えてこないだろうということを実験的に、鞍流瀬川の飛び石のところで実験して植栽したのと、この間「職員行動の日」という職員が地域の方たちとゴミ拾いを、同じ日にやる催しがあって、その川沿いにずっと帯で1回植えてみました。それが、例えば多少1メートルでも、その帯ができることで、川側の草が道路のほうに多少でも伸びてこなければいいのかなっていうのもありますので、引き続き継続的に行なっていきます。本当に沢山の方に歩いていただいていますので、「気持ちよく歩いてもらうことが1番」だと思っておりますが、だんだんと草刈りの回数が減ってきてしまったというのが現状ですので、それを戻そうと思うとなかなか厳しいというのが正直あります。なかなか緑道まで手が回らないというのは正直なところなのですが、できる限りです。ね、そういったことがないようにやりたいと思っております。あと利用者が多くて利用される方が草刈りをしたいという意見ですけど、公共用地の清掃だとかそういったものについては「アダプトプログラム」という「協働事業」「地域の方たちがやるという事業」がありまして、それに登録していただければ花植だとか草刈りだとかというのをやっていただける事業も展開しております。そういったものに、地域の方たちと何人かで集まってもらって、参加していただくことは可能です。その中で、例えばやりたいのだけど草刈り機の使い方とかそういうのが分からないということがあればですね、我々でも造園屋さんにお手伝い、指導していただくとかというのは、可能にはなります。委員のおっしゃられるような輪が広がっていくことを望んではいらっしゃるんですけど、なかなか現実的にはないと「アダプトプログラム」が最近登録した方たちがどんどん手を引いているというのが現実で、そこをいかに我々もサポートしながら、維持できるのかなと考えております。草刈りは可能な限りやっていたいと思いますが、限界がありますし、あまりにもひどくて、例えば交差点の角とか、見にくいとこだとか、危険だということは本当に言ってもらえば、やっていかなきゃいけないと認識しております。

我々も言っていたかかないと分からないというのが正直ありますので、大府市内全部をですね我々の方が巡回して見てるわけではございませんので、お声がけいただいたほうが、何らかの形で対応できることもあると

思います。事前の努力もしますが、なかなか難しいところもあって、本当に申し訳ないばかりでございますが色々な対策を我々も整備の段階から考えていきたいと思っていますし、維持管理についても、それを最終的な目標として、しっかりやっていかなければならないと思っておりますので、よろしくお願いします。

**委員長)** 今のお話を聞いてると、「次期計画に盛り込むべき」という話をしましたが、計画としてはそれでいいかもしれないですが、「市民の方、利用者目線からすると、今が大事なのかな」という思いもしております。テーマは違いますが「提案型緑化型推進事業」の話とも、相通ずるものがあると感じています。「やってもらうお金はあるけど、それが継続的に団体やってもらえるか」という議論は、提案型の方でもありますので、この委員会では、もう、すぐにでもというか、継続的に議論して、その体制と役割分担が、今、委員がお話したように見にくいといったところもあるし、市民と連携をして、そういった場をつくるということも多分時間もかかると思います。出来れば次回からでも、この委員会で議論をして検討していくという風にやっていかないといけないのかなというのは、改めて感じましたので、その辺りちょっと事務局の方で、精査していただきつつ、そういった維持管理の面での議論というのを少し重点化しながら、皆さんに意見いただきながら議論していくといいかなと思いますので、よろしくお願いします。

**委員)** 今の件ですけど、前から思っていたんですけど、「アダプトプログラム」という言葉が、「何やってんの？」という話なのです。今は、意見言う立場なんですけど、一方で意見を言われる立場でもあり、お客様からのご申告いただく立場でもあります。多岐にわたっていて、誰もものごとがよく分かる立ち位置が私なんです。それで、思うのですが、理想なんですけど、例えば「〇〇(何とか)公園守りたい」とかね、具体的なものを、与えて「その人たちの集まりってのは、そこをちゃんと守ってるんだ」みたいな部分があれば、やっている方も「ここ(〇〇公園)を担当してるんです」ってなるし、何かこう、こちらから見ても「何とか守りたいね」とお願いすると、動くのかな。そのリーダーの人は、市役所の方と打合せできるから、その人に言えば何かやってくれるのではないのかな。公園が100ぐらいありますから「100の団体つくるのか」というとこれ、「取り仕切りが大変やろう」と思うんですけど、何かそんな風になっていけばその公園が良くなるのかなというのは思うのですよね。何でこんなこと言うかという、「セレナ」って、みんなで選んだ「大府50景」のうちの1位なのですが、何をやっているかっていうと、「お客様の苦情、出来るだけ誰よりも早く取り除く」ということを大事にしているんですよね。それだから、当然、公園が綺麗になるのは当たり前なんです。そういうことだと思うんですよね。だから、そこに「熱持った人」がやっぱり居て、その人にこうやれば、まだ今のうちなら、何かこうやっていける、何とか「今の話も全部クリア出来てくる」んじゃないのかなって、ちょっと理想的かもしれませんが、思うんです。ここまで広げた公園で、水緑公園課の人も本当に大変にやっておられますし、私も愛三工業の活動にも参加しましたし、飛び石のにも参加しましたが、それぞれやっぱりいいところあるし、委員が言われたように、なぜ水緑公園課と環境課が一緒にやらないのかと、いうようなこと「はつきりしない、上手にやればいい」じゃないと、それはそれでもいいと思うんです。それぞれの想いでやっていただいていると思うんですが、当然、「環境課は環境課のイメージ」で、やっておられますし、「水緑は水緑公園課の立ち位置」で、やっぱりそれはそれで精いっぱいやってられるので、みんな一生懸命やってるのに、何で結果的なものがついてこないのかなっていう部分だけだと思うんですよね。もとに戻りますけど、何かこう、「小分けして、それを何とか守りたい」という、アダプトなんていう代替のものにせず、何か出来ていたらいいかな」ということは、ちょっと思いますが、理想の話で申し訳ないですが、提案としていかがでしょう。

**委員)** 私もうまい勉強不足で、こんなこと言うのもどうかと思うのですが、私は日進市に住んでおまして、二つの団体に私は所属していて、「野方三ツ池公園」という中に、「ハンギングバスケット」を12基設置して、その植栽と、水の管理はしてくださっています。「プライムツリー」とご存じですか。日進市の赤池にある、あそこの道路沿いに、18基の「スタンディングのバスケット」が設置してあるのですが、私たちが年3回そこを(植栽)やっているんですけども、いつも行くたびに、特に夏やなんかは、「スタンディングのバスケット」の上のほうまで草が伸びる。特に稲科の植物は、刈ってもすぐ生えますよね。だから、日進市にいつも苦情を言うんですけど、「メーカーさんに頼んである」と言われます。「大府はどのようにしているのでしょうか」とか。例えばさっき言ったみたいに横の連携がとれてれば、「いついつに私が植え込みをしますって前とか、の2・3日前に刈りこんでくださる」とか、「せっかく綺麗にフロアバスケットが出来ても、草が多く全然、意味がないんじゃないかな」といういつも思いますので、「そういうのを、大府市役所の方達は、どのような、管理を、皆さんに仕事の配分をしているかな」というのも、疑問に思って、ただ市民の声として、ちょっと言いたかったと思って発

言させていただきます。以上です。

**事務局)** まず、委員からご意見いただきました「公園守り隊」の関係ですけど、他の市町を見ますと、実際あります。今、我々がワークショップをやろうとしていますけど、本来そのワークショップっていうのをいつやるかっていうのもあるのですが、本当はその公園に、いろんなお話をいただいた中で、その公園に愛着を持ってもらって、そのまま輪が広がって、多分そういったところで先ほどおっしゃられた、「守り隊」みたいなものが出ていくっていうのもあればですね、やはりどうしても、「人を」というところがありまして、引っ張ってくれる人がいて、そういったところから、皆さんの輪が広がりましてという、色々なパターンがあると聞いていますが、ハードルは結構高いと感じています。「ただ、やれているところはあるので、上手くやれば出来るのかな」と思っているんですけど、なかなかまだそこまで、我々の方の手が届いていないというのが正直なところかな思っております。ニツ池公園でもですね、「守る会の方たち」、お見えになられるかと思うので、そういった方達の活動も、我々は見えていますけど、「その輪がどこまで広がらせることができるか」というのは、正直言って厳しいのかなと思っておりますが、手法としてはすごくいいことだとは思いますが、そういったことを目指すべきだと思っております。色々な調整とかにつきましては例えば保育園とか、小学校が「遠足で使いたい」ということを言うだけであれば、我々も「トイレの掃除」だとか、草が酷いようでしたら優先的にそちらに回すだとか、柔軟に対応しているかな思っています。ただそれがどうしても先ほどからずっと申し上げましたように、全部に目が行き届いてるわけではないので、やはり言われてから行動というところは、どうしても後手には回るかもしれませんが、「必要に応じてしっかり対応出来れば」とは思っています。以上です。

**委員)** 私は大府市共和町に住んでいるんですけども、今の公園の話、トイレの話なんですけども、本当に綺麗で、皆さんが本当に使いやすい」と言ってみえる、これは本当に大事なことかと思えます。公園も割と私もよく回ったりしているんですけど、綺麗にそれぞれしてありますけど、今年は本当に暑くて、もう夏草が凄く伸びていて、皆さん、色々やってみるとは思うんですけども、とても追いつかないっていうのが、現状だと思います。先程から色々市役所の方が色々な用事であちこち駆け回って見えるのは知っています。市役所の入り口のお花ですね、この夏の暑い時も汗だくだくなってね、管理してみえたので、ここ4、5年ですね、「皆さんの目を本当に楽しませている」というのは、「陰ながらそういう、汗だくになってやってみえる、市役所の方たちのお蔭かな」と思っていて、いつも楽しみながら見させていただいております。ありがとうございます。

**委員長)** はい、ありがとうございます。今日だけで、結論は出ませんし、これから本当に継続してやらないといけないと思うんですが、皆さんのご意見を伺うと、例えば「桜を守る団体」だとか、「アダプト」だとか、「提案型緑化事業」だとか、「コンテスト」だとか、「やっぱり種はもう撒かれているな」というのが、この施策を見ると、もう十分に分かるので、それを「全部市役所が」ではなく、「守り隊も含めてどう連携していくか」というのを、他の課も含めて、市民協働課とか、地域を所管する課も含めて、やっぱりこう「連携していく糸口を探るとい、一歩が踏めれば、何か上手くいく範囲でも色々出てくるのかな」という気もしています。そういう意味ではもう「この施策体系かなり色々なものがあるので、それを横串にできるような維持管理の在り方を、しっかり議論すべきかな」というのは、今日皆さんのご意見を聞いていると、本当に「一致した想いかな」と思っていますので、その辺りを継続的に、少し議論に添えて、やっていければなと思えます。よろしく願います。

**委員)** 話が合うのかどうか分からないんですけど、昨日長草の白は池に、「ふるさとガイド大府」として、皆さんのご案内に回りました。4年ぐらい前までは、白は池にも、「蓮の花」がすごく綺麗に咲いていたんですが、今年は何もなくて、池自体の歩道は結構、整備がされて、それこそ、夜なんかはライトが点いていて、凄く変わってしまったっていう状況で、結構、今年なんかはフェイスブックや色々なところにも、「星名池」が、とても綺麗だということ載ってましたけども、やっぱりせっかく長草の奥のほうに入ったところで、「大府パーキング」が出来て、結構あそこは人が行ったりする所に今なっていて、昨日も朝の9時位から居たんですけども、結構、皆さんがちょっと散歩がてらみえたりしています。それで、春なんかは、桜が凄く綺麗に咲いていて、私も良くその時期には行ったりするんですけども、今の時期は本当に何もなくて、「せっかくあれだけ立派な池があるのに、何とかならないかなあ」というのはちょっと思っていて、近くの方に伺ったら、「もう色々市には呼びかけてはいるのですが、なかなか事が進まない」様なことを言ってみえて、昨日（池を）見ていたら、亀が結構居たから、「亀さんが結構、食べてしまった」のかなと思えました。亀が蓮の方に行かないように、柵はつくってはいるんですけど、卵が蓮の方に行ってしまうと思うんです。でも、私は、あそこは一つの大府の名所にはなるんじゃないかなって、大府パーキングの方から見たときも、とてもいい景色なんです。だから、何とかこれから

色々皆様はどこかで動いているかもしれないけども、いい方向に進むともいいかなって思いました。

**事務局** 大府パーキングは、一昨年にパーキングエリアを新たに整備しまして、それが外部からも入れるということで色々な取組、今色々な所でしていただいている中で、大府市の白は池という、そこも委員がおっしゃられるとおり、蓮ですね、水蓮とか蓮とかは観光拠点として、実は位置づけていたところでございますので、そこを連携してやっていただけたという話が出た時に「是非ともお願いします」ということで、我々の方も協力させていただいて、今があります。今日も新聞に載っていましたが、ウォーキングされる方もお見えになれるのでフットライトをつけて、一周安全に歩けるようにやらせていただいているところでございますが、おっしゃられる通りで、20年前は、たくさん水蓮が出てまして、切りたいぐらい出てきたのですが、おっしゃるとおり、亀ですね。亀が出てきて、新芽を食べちゃうということ一時、植えたりもしていたのですが、やっぱり駄目でというのが現実です。

**委員** しらさぎとか、結構いろんな鳥が飛んできているので、もしも誰かシャッターチャンスを狙うなら、すごくいい写真が撮れる場所であるんですね。だから、何とかならないのかなというのは、本当に思いました。昨日、月曜日だったんですが、大府パーキングも、駐車場は満車でした。満車になる位に人が来ているということだから、それは、すごく活かしていかなくちゃいけないということと、それと、11時半頃に行ったときはまだレストランの方も、お客さん居なかったんですけど、12時過ぎたら本当に凄いお客さんが来て満席でした。だから本当に、せっかくの（PR出来る）場所ですので、よろしくお願いします。

**委員長** 現状、「基本計画の進捗状況」ということでご報告をいただきました。本当にたくさんの施策を、実施していただいているなというところではあるのですが、先ほどから言っている様に、維持管理ですね、その辺りを、ぜひ、今後、この委員会の重点に置きつつ、これらがより市民、若しくは観光客向けに、展開できるといいなと思います。よろしくお願いいたします。

（休憩）

---

**委員長** 時間になりましたので、再開します。議題の二つ目、提案型緑化推進事業の中間報告についてです。説明をお願いいたします。

**事務局** ---【資料に基づき説明】---

**委員長** 何か、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

**委員** この報告を見て、とてもきれいな花が植わっているというのが、よく分かって、すごくいいなと思うので、「大府市のInstagram」で載せたりされているのでしょうか。こういう活動状況は、30代40代、もっと幅広い世代の方が、今Instagramをやっている方も多いですし、大府市のオフィシャルで、ニツ池公園のライトアップの写真などもそういったものも、綺麗にアップされているので、この様な綺麗な風景、地域の人がこういうことをやっているんだということを、広められたらいいのではないかなと思いました。以上です。

**事務局** 以前から、SNSの活用というのは、我々も意識はしているのですが、この件については上げてませんので、上げられるようにしていきたいと思います。せっかく看板も付けているので、そういったところも、インスタを使いながらやっていければと思います。

**委員長** 私も同じ、意見を言おうと思ってまして、この資料は、各団体から送ってきた写真ですか。

**事務局** 写真は、各団体から送っていただいたものです。

**委員長** 市の政策でもいいと思いますし、報告を、インスタベースでやってもらうというのも良いと思います。事務局発信でもいいですし、団体発信でも両方あるとよりいいという思いがありましたので、そういった活用をぜひお願いします。

**委員** 大府の町を結構走ってるので、昨日も「あそびのいっば」さんのところを寄らせていただきました。去年と比べると、何か大分進歩していて、本当に綺麗にやっていました。竹で工夫して囲いをしてあったり、ラベンダーが、中央に大きく植えてあって、それが大きくなると、とても楽しみだになってというのは思いました。それからハーブストリートさんも、回ってきました。ここは、よく通りますが、ポットの中に、多肉植物を植えてあって、ウサギちゃんとか、何かそういう人形さんもちょっとそこに加えて、何か見る楽しみがある様にしてありました。それこそ、黄色いお花はキバナコスモスというんですかね。本当に見事に咲いていたので、素晴らしいと思いまし

た。それから、アダプト吉田さんですが、お花は、本当に見事に咲いていました。たまたま行ったら、女性の方が水やりをしていたんですけども、今年は大変だったと言ってみえて、管理する人が人手不足だということを書いて、もう少しお手伝いしてくれる人がいるといいなということを書いてみえました。それから、BT 木ノ山、年々やっぱりこども、花が綺麗に咲いていました。もう皆さん慣れてきたのか、知識も豊富で、もう本当に見事に花が咲いていたので、これは木の山から大府の街に入るところですね、本当に玄関口としては相応しい所で、花が立派に咲いていると思いました。以上です。

**委員)** 大府コミュニティでは、この写真は植えてすぐの状態だと思うんですけど、草がすぐ生えてきて撤去するのがやはり大変だったということ。今年みたいに暑いと、どうしても植えた花がみんな枯れちゃうということがあって、綺麗にすることはいいのですが、それを守っていくってことは大変です。全てに関わってくることですが、維持管理が大変だになってことです。やっぱり認識を持って活動していかないと続かなくなってしまうと、非常に感じています。それとも一つ、今年の1月のときに活動させている大東小学校は、ハナモモが50本程植わっているんですけど、何も説明しなくても、声かけて全部で約30人から50人集まり、剪定したら物凄く綺麗になりました。

**委員長)** ありがとうございます。前の議題の話にも関わるんですけど、今ちょっと、先ほどの50人ぐらい集まったという、動きは、コミュニティさんの声だけで集まった部分があるのではなく、委員さんのご尽力で集まったんですね。「維持管理するのに、お願いします」という話を行政からすると、「何?行政の怠慢だ!」と思われてしまう可能性があるから、どうやってサポーターづくりをやっていくべきかというのを少し議論していただきました。やはり委員さんのノウハウとかを活かしながら、コミュニティーベースの話や部活など、子どもたちとの連携だとか、企業も、環境に力を入れたいという話があると思うので、そういった企業とか、本当にみんなを巻き込みながら、維持管理をどうしていくかというのが重要なテーマかなと思います。やはりお金の面もこの提案型が、上級はいつまで上級なのかとか、維持管理するのも足りないよといったところも出てくる中で、予算と人の話をうまく仕組みづくりを、やりたいなというのは改めて思いますので、ぜひ今後も、ご意見がいただければと思います。

**委員長)** そのほかはいかがでしょうか。よろしいですか。

**委員)** 維持管理、大変と思いますが、事務局の方に聞きたいです。「ハナモモの具合の樹木の調査を実施されて、当然枯れた木を植え替えてっていうのを今後作業される」と書いているんですけど、実際どれぐらいの木が不具合なのかわかりますか。

**委員)** 今年は、凄く暑かったので、多分かなり増えているんじゃないかと思います。

**委員)** それは、例年に比べて今年は酷く暑いのが原因になっているのでしょうか。

**委員)** そうだと思います。

**委員)** ハナモモだけでなく樹木は、生き物なので、この暑い中で公園の中の樹木もそうですけど、原因は一つだけじゃないと思います。今後、ちゃんと確認、こういう調査も大事なかなと思いました。以上です。

**委員長)** 今の調査に少し関連するかなと思います。土木関係だと、インフラのメンテナンスが必要なのを、市民から写真を送ってもらって情報収集する仕組みを使ってる自治体が結構あります。例えば、草について連絡をもらうと、市がやらないやいけなくなるので、あんまりそこはフィットしないなという頭があったんですけど先ほどおっしゃったように枯れてるよとか、元気ないよとか、そういう、いわゆる診断みたいな、みんなで守ろうっていう中でのそういった報告っていうのは、何か、調査として、やれるような体制はいいと思います。

**事務局)** 木の状況調査なんですけど、昔は樹木医にお願いして大木を選んで調査をしていましたのですが、今はそこまでなかなか目が行き届かないというのが正直なところです。ただ、公園の樹木も公園内とか、街路樹は毎年、造園業者に、剪定とかもお願いするので、剪定時にチェックし、あとは我々の方は公園に出向いたときに、どんな状況であるかを確認していますが、また、市民からの通報で確認に行ったら危険な状況にあると確認できました。先月ですが、台風が来る状況下で、共和駅前の街路樹が、以前の台風で倒れたことがあったので、その付近の確認を事前に行ったら、該当樹木の幹中がスカスカであったので、それは自分たちで確認した上で2本切りました。やはり頂いたご意見に対応していると、後手にはなってしまいますが、公園のチェックのときには、確認をしながらやっていくしかないのかと思っています。

**委員長)** はい、ありがとうございます。街路樹も、そういった維持管理が大変なので、切ってしまう自治体もあります。ぜひ大府は残すというか、こういった計画を管理している身としては、是非いい形で、残し続けられるよう

な、仕組みづくりというの本当に改めて大事だと思いますので、引き続き、皆さんと御議論できればと思います。そのほか、いかがでしょうか。

では提案型緑化事業の中間報告とか進捗状況ということで、各団体さん、非常にすばらしくしっかりやっておられるということで、よろしくお願いします。

-----  
**委員長)**では続きましては公園整備の計画についてに移ります。では、事務局のほうから説明をお願いします。

**事務局)**---【資料に基づき説明】---

**委員長)**何か質問、確認事項とかいかがでしょうか。

**委員)**竹林のほうは駐車場があって、トイレはなくて、保育園の方はトイレはあるけど駐車場はないってことですか。駐車場を利用したいときはどこを利用すればいいですか。

**事務局)**竹林に関しましては、図面右上に、実は物置と書かれている場所がございます。こちらを改修する予定がありまして、この中にトイレがございます。続けてお話をさせていただきます。吉田保育園跡地の方も近くにもともと吉田保育園用の駐車場がございます。そちらの利用が可能です。ただ、車椅子の方がみえるときのために身障者用駐車場1台分だけは確保する計画になっております。

**委員長)**はい、そのほかいかがでしょうか。

**委員長)**身障者という視点でいきますと、竹林の駐車場のイメージは写真のようにになりますが、通路も、緑化されますか。それとも駐車桟だけ緑化でしょうか。

**事務局)**現在の計画ですと、駐車桟の緑化で駐車桟以外のところは、アスファルト舗装になります。園路は竹のチップを締め固めたもので、車椅子も通れる形で整備していきたいと考えております。

**委員長)**はい。それならいいと思います。うちの大学が駐車桟じゃなくて通路の方も、この緑化型ブロックとなっており、車椅子が乗り降りできなくて、非常に困っているということをお伝えしようかなと思ったのですが、通路側がしっかり、整備されるのであれば問題ないかなと思います。ありがとうございます。

**委員長)**はい、その他いかがでしょうか。

**委員)**まず竹林の方なんですけど、図面の色が塗ってない部分っていうのは、そのままなのでしょうか。それをちゃんと間引きするとか何かするのかというのと、あと、整備された後に、維持管理というか、例えば、何かイベントとか、タケノコ掘りで使うとか、何か色々そういう考えはあるのかなっていうところが聞きたいです。あと、保育園跡地のこのサクラって、何を植えるというのが気になります。色んな種類を植えるのかなあと思いましたので、そこを聞きたいです。

**事務局)**まず竹林ですが、竹の間引きに関しては、必要なところは間引いて、逆に足りない部分は補植するような計画になってくると思います。園路を整備する場所に植わってる竹は当然、取らなくてはならないものとなり、ただ、あくまでもここは樹林地の保全という形になるので、必要以上には竹を減らすことはないです。

**委員)**必要以上というのは、どこにどういう基準があるのですか。

**係長)**整備の中で邪魔になるところは、間引くという形です。

**委員)**他の例えば白い真ん中のところっていうのは、そのまんまですか。

**事務局)**基本的にはです。悪くなってない竹をそのまま使えると考えてますので、枯れてしまったものは、切らざるを得ないと考えています。

**委員)**枯れたやつは全部切るのですか。

**事務局)**全部切るということではないです。後イベントの話に関しましても、そういうお話がございまして、まだ今形が見えてない中で、どんなことが出来ますかって言っても、なかなかイメージも湧かないと思いますので、おおむね形が見えてきた段階で、竹林を市内でも管理している方に相談しながら進めるとか、知多市のにも活動されてる方がみえるので、そういった所に相談するとか考えています。先ほど言われたタケノコ掘りですとか、流しそうめんだとか色んな話が出ていますが、そういったイベントを開催していくに当たり、地域の方の協力を得ながら維持管理していきたいという想いは持っております。保育園の桜に関しては、色んな種類という考え方もありますが基本的には「花の咲く時期を合わせたい」と思っています。で、今既存の保育園のときからある桜が「ソメイヨシノ」ですので、それを中心に植えていくことになるのではないかとはいいますが、詳



細な樹種までは、現在決めてはいないです。ただ「花咲く時期を合わせたい」、そこに関しては考えております。

**委員長)** そのほかいかがでしょうか。

**委員)** 繰り返しになるんですが、また子ども公園がきれいな公園ができて、私も子どもと一緒に行ってみたいなって思いますし、ただやっぱりその子どもうち3人いるんですけど、3人子どもを連れてお友達も一緒に行こうかってなると、ほとんど、やはり車で移動するのが中心になると思うんです。ですから「公園の駐車場の場所」ですとか、「トイレは、小さい子はこういうトイレがあるから大丈夫だよ」とか、そういう情報を、また、インスタグラムになるのですが、インスタグラムで「駐車場はここだよ、トイレはこういうトイレがあるよ、例えば座るトイレがあるから安心だよ」とか、そういう情報を少し加えてもらえると。新しい公園ができたというニュースは、「広報おおぶ」ですとか、ひょっとしたらインスタグラムでも載せてくださるのかもしれないんですけど、具体的に行動となったときに、ここに公園ができたのは知ってるんだけど、行って見て、どこに車をとめたらいいかわからないとか、トイレが心配だからやっぱり大きい「大府みどり公園」とか「あいち健康の森公園」のほうがいいかなとか、そういう分かったところに行きがちになっちゃうので。せっかく素敵な公園ができるので、そういうところのプロモーションも含めて、色んな公園に子どもが行けるような、そういう情報を、親にいただけたらなと思いました。以上です。

**事務局)** ありがとうございます。情報発信もしっかりと整備が完了したときの通知と共にしていきたいと思います。ありがとうございます。

**事務局)** 補足になりますが、市内にある公園については、市公式ウェブサイトの方で紹介されていて、そこにある施設等の写真を載せてございます。また、新しく公園が出来れば新たに掲載をしていきますので、そちらをご覧ください、どんな施設があるかを確認していただくことになるかと思います。現在は、「トイレの中がこんな状態だ」ということを現在は載せていません。「車椅子が入れる多目的トイレになっている」という情報は、しっかり掲載しているかと思うので、ご確認いただければと思います。ありがとうございます。

**委員長)** 情報としてあってもそこに行ってもらえるような、情報発信が大事なかなと思いますので、その辺りの発信もぜひ意識しながらお願いできればと思います。

**委員)** 希望的なんですけど、さっきソメイヨシノしか今まだ考えられてない。せっかくこういう、桜の公園が出来たら、色んな種類っていうか、同じ時期にでなくて、ちょっとずらすと、例えば、ソメイヨシノじゃないサクラが、この時期行くといいよとか、色々な種類があるとまた楽しみも増えるのではないのかなっていう、希望的な話です。以上です。

**委員長)** その辺りの計画、決定というのはどういうプロセスで考えられるのでしょうか。

**事務局)** 桜が植わってる公園や植わっている場所がかなりありますので、我々の今までの経験値の中で、ちょっと検討はしてるるところです。例えば「ニツ池公園」では、河津桜がたくさん植えてあって、本当に観光客が、観光地として来ていただいているので、大きい公園であればですねここで楽しんでいただく。この時期に、河津、この時期にソメイヨシノとか、緑も含めてということがあります。あとは、やはり我々としては「桃山公園」という、大府の中で、桜が有名なところがありますが、そこは本当に「ソメイヨシノ」がメインで、そこに行けば、満開の桜が見えるっていうところがありますので、その辺りを意識したいと思っています。桜の時期に行ったときに「全体を、ピンクに桜で！」という想いで今、この公園のコンセプトがあると思っていますので、色んな種類があったとしても、時期は出来るだけ合わせていきたいと思っています。

**委員)** 何でもかんでも「ソメイヨシノ」とか、そういうのでなくて、取って付けたようなやり方をしていると絶対に人は来ない。人が来てくれて、人を呼べるという公園をつくらないと。一つ例を挙げますと、新城の桜淵公園というのがありますが、大きな川があって、そこはすぐもう観光バスも来てますし、そういう感じで、委員長が言っていた観光緑花じゃないではないですが、例えば、鞍流瀬川だと豊田織機の所から共和駅のどこまで、全部5年計画でいいから、「ソメイヨシノ」でもいいんですけど、さっき言ったように吉田地区はボタン桜にするなどして、開花が多少時期が違ってくるもんですから、何でもかんでも同じ桜を植えるんじゃないでなくてAポイントはこの桜、Bポイントはこの桜という感じでやった方がいいかなと思います。そうするともう少し人の呼べるような公園づくりも、やってほしいなと思います。辰池や川池にしても人の呼べるような公園ではないんですよ。地域の人は見に行けるけど、他から人が来て、大府に金を落としてくれるようなシステムも考えていく様な、もう少し先を見たやり方していかなければと思います。折角こういう場所があるのに、もっと活かして欲しいということ

非常に感じるので、もう少し長いスパンでやって欲しいなと思います。以上です。

**事務局)** この公園も、桜をたくさん植えることで駐車場も準備させていただきます。桜を楽しみに来ていただける方を指してこの公園を整備するわけでございますので、それぞれ公園の特色を考えていかなきゃいけないと思います。ご意見いただいたので、参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

**委員長)** そのほか、いかがでしょう。よろしいでしょうか。では、今いただいた意見を参考にですね、ご検討いただければと思います。よろしく願いいたします。では、その他の事項をお願いいたします。

**事務局)** 次回の第3回大府市緑化推進委員会の開催は令和6年2月頃を予定しております。それでは最後に、水と緑の部長から一言御挨拶を申し上げます。

**事務局)** 第2回大府市緑化推進委員会ということで、また毎回本当に貴重なご意見をいただきまして熱い議論をいただきましてありがとうございます。今日いただいた意見を、また、第3回それから来年度以降にも、どんどんつなげていきたい。特に維持管理も含めて、協働のやり方については永遠の課題ではありますが、活かしていきたいと思っております。ようやく暑い、苦しい長い夏が終わりまして、今週の金曜日は中秋の名月です。秋が始まりまして、先ほど館長が言いました様に、平戸池のところに彼岸花がきれいに今咲いています。10月になりますと、フジバカマが咲きだしまして、アサギマダラが飛来します。一つ豆知識ですけど、この写真の下の羽のほうに黒いちょっと染みが有るのが分かると思うんですけど、これが雄です。で無いほうが雌なので、またアサギマダラ見られたときにこの黒いしみがあるほうが雄だよというふうに、覚えていただくと思います。今年も本当にたくさんのアサギマダラが飛来することを願っております。秋は色んなお祭りがありますが、お祭りの集大成として、この11月5日にセレナフェスタがあります。そのあと、冬になりますと樹木が休眠期に入ります。休眠期に入りますので、不要な枝を剪定したり伐採したりという作業、それから、歯抜けになってしまったところを、来年の春に向けて、補植、植え替えをするという作業を行っていきます。来年度以降も大府市の緑化を推進していくために、皆様のご助言をいただきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

**事務局)** 以上で、第2回の委員会を閉会したいと思います。本日はありがとうございました。

以上